



1月号

毎月1回 10日発行

発行所 八郷町役場
八郷町大字柿岡
電話(柿岡)4番
発行人 桜井嘉幸

戸数と人口(12月末日現在)
世帯数 5,727
人口 { 男女計 16,233 / 16,995 / 33,228

町議会の新陣容

正副議長に櫻井・瀧田の両氏

昨年十二月二十二日の町議選で当選した新町議は、去る一月六日初議を開き、正・副議長、常任委員など役員を選出、数件の議案を審議議決して、三十名の新議会はなごやかに発足した。その陣容は次の通り。

- 議長 桜井 浩藏 (瓦会) 58
- 副議長 瀧田源三郎 (柿岡) 59
- 監査委員 小河原一三 (瓦会) 62
- 臨時出納検査立議員 土田庄右衛門 49
- 友部太左衛門 37
- 真家 只吉 57
- 常任委員会 (〇印は兼務)
 - 全 文教科員 刈部義延 52 (芦穂)
 - 委員 滑川好道 47 (小桜)
 - 委員 萩原喜文 29 (林)
 - 委員 関野信平 52 (小幡)
 - 委員 浅野 篤 56 (恋瀬)
 - 委員 永井 要 46 (園部)
 - 委員 土田庄右衛門 49 (柿岡)
 - 委員 吉田次郎 50 (柿岡)
 - 委員 鈴木栄三 40 (芦穂)
 - 委員 鈴木英雄 57 (林)
 - 委員 青木茂夫 49 (恋瀬)
 - 委員 渡辺啓治 35 (小幡)
 - 委員 野村透一 52 (芦穂)
 - 委員 滑川好道 47 (小桜)
 - 委員 小林文雄 45 (林)
 - 委員 友部太左衛門 37 (恋瀬)
 - 委員 鈴木重美 49 (瓦会)
 - 委員 小松崎茂喜 40 (柿岡)
 - 委員 鬼沢三右衛門 59 (小幡)
 - 委員 友部末三 61 (恋瀬)
 - 委員 込山春男 55 (小幡)
 - 委員 鈴木英雄 57 (林)
 - 委員 中島政雄 58 (芦穂)
 - 委員 山田政男 50 (園部)
 - 委員 広瀬松之助 47 (柿岡)
 - 委員 関 文吾 58 (小桜)
 - 委員 友部末三 61 (恋瀬)
 - 委員 込山春男 55 (小幡)
 - 委員 鈴木英雄 57 (林)
 - 委員 中島政雄 58 (芦穂)
 - 委員 山田政男 50 (園部)
 - 委員 広瀬松之助 47 (柿岡)
 - 委員 関 文吾 58 (小桜)
 - 委員 野村透一 52 (芦穂)
 - 委員 滑川好道 47 (小桜)
 - 委員 小林文雄 45 (林)
 - 委員 友部太左衛門 37 (恋瀬)
 - 委員 鈴木重美 49 (瓦会)
 - 委員 小松崎茂喜 40 (柿岡)
 - 委員 鬼沢三右衛門 59 (小幡)
- 土木委員会
 - 委員 矢口甲子丸 (根小屋)
 - 委員 大瀬理兵衛 (片野)
 - 委員 友部 洋 (大塚)
 - 委員 桜井 浩藏 (小崎)
 - 委員 鈴木 栄三 (小山田)
 - 委員 関 文吾 (半田)
 - 委員 永井 要 (山崎)
 - 委員 鈴木 重美 (瓦谷)
- 厚生委員会
 - 委員 渡辺啓治 35 (小幡)
 - 委員 浅野 篤 56 (恋瀬)
 - 委員 高橋マツ 59 (園部)
 - 委員 〇広瀬松之助 47 (柿岡)
 - 委員 〇関 文吾 58 (小桜)
 - 委員 〇刈部義延 52 (芦穂)
- 経済委員会
 - 委員 友部末三 61 (恋瀬)
 - 委員 込山春男 55 (小幡)
 - 委員 鈴木英雄 57 (林)
 - 委員 中島政雄 58 (芦穂)
 - 委員 山田政男 50 (園部)
 - 委員 広瀬松之助 47 (柿岡)
 - 委員 関 文吾 58 (小桜)

ご挨拶



この度不肖私が八郷町議会議長に推選に依りまして、八郷町議会議長に選任されました事を非常に光榮に存じ深く感謝致すものであります。

元来私は浅学非才殊に政治力に乏しい者で、良く議会の秩序を保ち議事を整理し、議会の運営を統理することが出来得るや否やを省みて衷心不安を抱くものであります。幸にも学識経験豊かなにして、政治力の強い議員各位の力強い御支援により、此の重責をお引受け致した次第であります。一度之の重責を負いました以上老軀に鞭打ち一生懸命勉勵致し右に偏せ左に傾かず、正しく中道を歩み厳正公平なる議会の運営を行ひ覚悟であります。吾が八郷町も発足して二年目に入りましたが、諸政着々軌道に乗りつゝあることは偏

委員 真家只吉 57 (園部)

國保運営協議会 委員の一部を改選

前委員 大瀬理兵衛、島田久吾、高橋達三、桜井浩藏、高橋栄、飯島亮、関文吾、鈴木重美の八氏は、昭和三十年十二月三十一日で任期が満了したので、六日の町議会で次の八氏が選任された。

- 矢口甲子丸 (根小屋)
- 大瀬理兵衛 (片野)
- 友部 洋 (大塚)
- 桜井 浩藏 (小崎)
- 鈴木 栄三 (小山田)
- 関 文吾 (半田)
- 永井 要 (山崎)
- 鈴木 重美 (瓦谷)

この新委員は引続き在任す

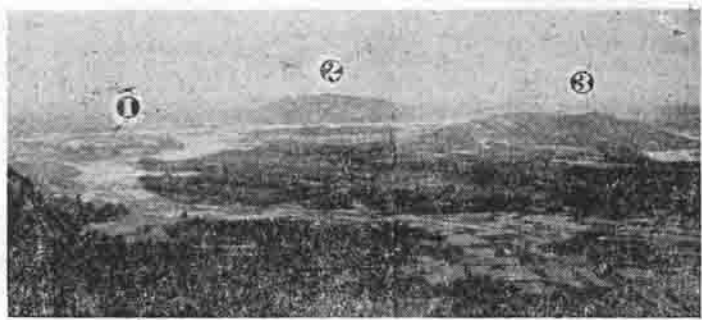
新教育委員会会長は 藤代 遠氏

藤代 遠氏

合併後最初の公選による教育委員会委員の会議は、一月七日午前九時、柿岡公民館にて開かれ、正副委員長の選任が行われ、左の通り決定した。

八郷町議会を五つに 委員会条例を改正

旧町議会は百二十余名の議員で、八郷町議会を五つに改選したが、この初議会で、議員数が少なくなつたことと、仕事の能率を高める見地から、五常任委員会を五つに統合された。ここでは各議員から、八郷町建設のため土木事業の重要性が強調され、土木委員会には特に各地区より一名づつ計八名の委員が配置されることになつたのは、新議会の一つの熱意の程が示されたものとして注目される。



関 格之輔 53 公選
委員長 藤代 遠
副委員長 鈴木 英雄
新春の八郷盆地
①柿岡 ②竜神山
③富士山 (麓に地磁気研究所がある)

白田明正君ら受賞

白田明正君ら受賞
第二回 農研実績発表会
オ二回農事研究会青少年クラブの実績発表会は、一月十日柿岡公民館で開催、各農研選抜十四名の発表者より、貴重な発表があつたが、審査の結果次の通り受賞された。

- 〇陸稲移植栽培について 戸の内農研 白田明正 優秀
- 〇本年の経営決算を省えりみて (小嶽地区) あやめ農研 小沢 弘
- 〇稲の優良品種について 石沢農研 岩本武男 優良
- 〇病虫害共同防除の体験 (小嶽地区) 月向農研 小林久義
- 〇胡瓜のトンネル早熟栽培について 園部農研 田口恒夫
- 〇移植麦作の効果について 月向農研 友常満登

新年のごあいさつ

町長 大槻 忠 夫

明けましておめでとうございませう。八郷町誕生の年であり、近年稀に見る豊作を喜んだ昭和三十年も、矢の如く、過ぎてしまいました。皆様御家族そろつてお元気で、希望にみちた新春を迎えられたことと存じお喜び申し上げます。私共の八郷町も、昨年は旧町村より引継ぎの負債の整理と、新世帯で思わぬ経費を必要とするなど、まことに苦しい財政でしたが、皆様の理解ある御協力により、小中学校、柿岡公民館の建築、道路橋梁の補修改設、国保の更生等着々実行されてまいりましたことは御同慶に存じます。今年も昨年よりご約束の新農村建設計画を樹立して、町の発展計画を明らかにし、これを実行にまで進めねばなりません。これがほんとうに地についたものであつて全町民に支持され、明かるとい希望を与えるものとする為には、皆様方に一段の関心と協力をお願い致さねばなりません。すべて町の施策は、皆様の希望が十分に反映されたものでなければなりません。そのために今年も出来るかぎり皆様のとつきを語りあう機会を作りたいと思つて、皆様の私にきかせたいことは、手紙でも面談でも、何でも結構です、どうぞ遠慮なくお知らせいただきたく思います。町を愛するが故にとくに皆様にお願ひ申したいことは納税の協力です。町の健全な財政は町政の根本であつてそれは納税の完備を基本と致します。納税成績は皆様の町建設への協力の度合いをはかるバロメーターと申しても過言ではありません。私は皆様より納めていただく税は、細心の注意をはらい無駄な使途を厳に戒め、かわりに、納税成績向上のためには多数町民各位の御要望の通り、毅然とした態度で望む決意を新にいたしております。年頭にあつてしみじみ感じますことは、人の和の力強さです。家でも、部落でも、町村でも、みんなが力を合せて同じ目標に向つて、和気あいあいと努力しあう姿は、何と美しく心強い事でしょう。これがわれわれの幸福を作り出す原動力であります。では皆様、理想郷「大八郷町建設」を今年の合言葉として、堂々たる大行進を続けようではありませんか。

新年のごあいさつ

知事 友末 洋治

明けましておめでとう存じます。ここにすがすがしい昭和三十一年の新春を迎え、ますます皆様さんのいやます幸福と繁栄とを心から慶祝申し上げます。

昨年は幸いにも天の時を得て、農産も水産もともに豊作でありましたが、県政の面におきましては、財政窮乏にわずらわされて平年作以下に甘んじなければならなかつたのであります。

申すまでもなく本年はその所の如何を問わず、政治行政も財政経済も、はたまた産業文化もともに平和と安全、幸

福と繁栄とを一途に求めて分散から集中へ、孤立から協同へ、あるいは不安定不均衡から安定均衡へとそれぞれその方向を大きく転換しようとしております。

私どもの福祉茨城の振興はこの時代の大きな流れにびつたりと添いながら、あくまでも財政の健全化の基礎を築き上げつつ、新しい機構を人の和によつてしつかりと固めてこれを着実に推し進めたいと思つております。

きわめて意義の深い転換の新春に当り、皆さんの幸福と福祉茨城の振興とを衷心から祈念して年頭のごあいさつといたします。

年頭所感

衆議院議員 山本 象吉

新年おめでとう存じます。一年三百六十五日を区切りとして毎年正月があり、年の瀬があつてこそ人生行路に区切りが出来、まことに宜しいと思つてゐる。

もしこの区切りがなかつたら、人生の道程があはけないものになつてしまつてしようその意味で新年はお目出たい大いに祝つて三百六十五日の一区切りの計を擲てるべきだと思つてゐる。

終戦後十年も過ぎた。そして再建日本の基礎だけは大体出来上つたようである。今年からいよいよその土台の上に立派な家を建て、真の再建された日本をつくる才一年ではないかと思つてゐる。

その意味で今年は大いに頑張らなければならぬ。猿知恵でないほんとの大智を傾注して、お互に頑張りたいと思つてゐる。

政治の面だけを考へても、

開地の大開発を行い、そして安住の地とする。そうすると日本内地の人口は五千万か六千万人となつて、吾々みんなが兎に角働けば食つて行かれます。そして人間らしい生活が出来ようになる。

そんな夢が実現出来ないものだろうか？ 必らずしも不可能ではあるまい。そんな夢を見ながら昭和三十一年を働き通す考へであります。

東成井地域の住民投票

解説

一年半にわたつてもつれていた東成井地域の分町問題は一月五日の住民投票で、有効投票の絶対多数で「分町しない」ことにきまり、この問題に終止符がつけられたわけだが、分町派はこの住民投票実施の町議会決議に異議を申立てて投票を棄権し、一月六日の町議会に分町再検討の請願を出したので、いかながらすつきりした解決に至つていないが、そのいきさつは次のようである。

町が住民投票実施をきめるまでのいきさつ

東成井地域の分町問題は、この地域に分町を希望するもの、これに反対する現状維持のものが入りまじつて深刻に对立しており、かりに町が一方的に分町派の希望をいれ竹原村に分離してやつても、この地区住民の対立が解決するとは思われず、又住民の幸福をもちたすものではない、町が何とかして両派の円満和解を期待し、あらゆる努力を続けて来たのもそのため、分町派の分町理由の一つである役場の距離問題を解決するため、東成井に役場支所をおくから分町を思いとまつてくれとの条件まで出したのだが、分町派はこれら一切の交渉を拒否し、県に対して再三にわたり住民投票の実施を陳情し続けて来たのだつた。県でもこの問題と、とりくんでいた八郷町議の任期満了が切迫して来たので、任期中に解決を希望し、昨年十二月総務部長名をもつて、町で住民投票をやり、その結果で分

出来るようになる。そんな夢が実現出来ないものだろうか？ 必らずしも不可能ではあるまい。そんな夢を見ながら昭和三十一年を働き通す考へであります。

九日現在で八郷町議会議員の選挙権を有するものとする。分離の決定は住民投票の結果、有効投票の三分の二以上が分離に希望した場合とする。

分町派が異議を申立てた住民投票の区域

前記の議決された区域は、東成井小学校の通学区全域で客観的に見てもつとも妥当な線といわれている。もし分町派の希望する地域としたら長原部落を飛地とし、東山崎と長原両部落を通学区問題で教育上重大な支障を来たす結果となるかも知れない。

果もこの区域を適当と認め

分町派が町の議決した区域に異議を申立て、投票拒否に出る気配を察知した県は、総務部長名で、

「八郷町が議決した住民の請願投票を行う区域は、町村合併促進法第十一条の規定に基づいて、知事が勧告するときの基準として自治庁次長から示された諸条件と概ね適合している。一時の感情、情実にとらわれず、投票に参加するよう住民を啓蒙された」と分町促進委員会代表に要請して来たが、分町派はこれにも応じなかつた。

住民投票の結果

一月五日町議会の議決通り住民投票は実施されたが、分町派は強硬に投票拒否の行動をとり、中間派と見られる部落民の入場券を回収し、分町派を動員して全投票所につめかけ、部落民の投票をけんせしたが、開票の結果は

総投票数 三六二
有効投票 三五八
無効 四
分町しない 三五〇
分町する 八

有効投票のうち「分町しない」ことに決定したのである。

分町再検討の請願

ところが、一月六日開会の新議会で、東成井分町促進委員会代表仲野谷利雄外二名は町議高橋マツ、野村透一両氏の紹介で、「東成井地域の分離問題についての議決に対する異議申立請願」を提出したので、議長はこれを議事に報告した。

しかしこの住民投票の妥当性については、この指導にあられた高木土浦支庁長の見解が、当時の新聞紙上に報導された通りで、何等疑義のないものと思われる。

土浦山根会

創立五周年を迎えた

昨秋創立五周年を迎えた土浦山根会は、会長関守部氏(小桜出身)を中心として、親密な交情を結び、目覚ましい発展を遂げています。

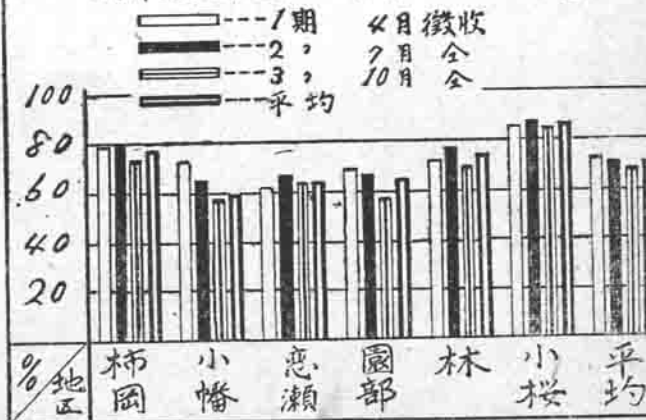
去る十一月六日には、創立五周年記念祝賀大会を催うし大槻町長を招いて、八郷町建設の状況説明を求めると、郷土の発展に深い関心をもつています。

小桜地区辻地内に出来た今治橋

災害復旧工事として、一部政府の補助で施工したもので護岸工事を含めて総工費二二万円、昨年十一月竣工。



保険納税成績 30.12.現在



新小作料に円満な切りかえを

新小作料のあらましについては、十一月号広報でお知らせしてありますが、町の農業委員会が皆さんの小作地の一筆一筆について、色々の基準から算出した最高小作料を、知事の認可をうけて決定しましたので、農委事務局か、支所に問い合わせ、所有者、耕作者あい対で、なるべく早くきめて下さい。昭和三十年度分からの新小作料が実施されることになっております。

新小作料の話しあいがつきましたら、農業委員会に申し出て、小作契約書をかきかえの手続きをして下さい。

(農委事務局)

吏員辞令

林支所勤務 大野谷喜久雄
厚生課勤務(国保係) 三〇、一一、一五附
厚生課勤務(国保係) 三〇、一一、二八附
厚生課勤務(国保係) 森田 要太郎
死亡 三〇、一一、二八
農委職員(園部) 広瀬 政久
退職 三〇、一一、三〇附
税務課書記 菱沼 克巳
厚生課勤務(国保係) 飯田 信平
同課(衛生係) 恋瀬支所主事補 永山 雅美
以上一月一日附
保育所長 井野 秀雄
厚生課勤務(保育所長を免する) 八郷町助役 菊地吉左工門
命ずる
一月九日附

農地の相談は毎週土曜日に

町の農業委員会では、事務局の機構をかえたので、支所配置の職員は全部本庁に引きあげたが、皆さんよりの文書は今迄どおりいつでも各支所長が受けつけます。

毎週土曜日は、本庁より各支所に係員を出張させますから、細かい相談や問合せはこの日を御利用下さい。

おことわり

一月号広報は、東成井地区住民投票、初議会などの記事のせる都合で、発行を延期いたしました。

今年も特別の事情のない限り、十日発行を続ける予定です。